

キリングループ　2026年12月期　第3四半期決算

2026年11月11日

- キリンホールディングスの高岡です。よろしくお願いいたします。
- それでは、第３四半期決算についてご説明いたします。まず、2ページをご覧ください。

2026年度 3Q実績サマリーと通期業績見通し

（億円）	25年3Q 実績	26年3Q 実績	増減	%
売上収益	17,561	18,516	954	5.4%
事業利益 *	1,705	2,012	306	18.0%
税引前四半期利益	1,673	2,249	575	34.4%
親会社の所有者に帰属する　四半期利益	1,028	1,474	446	43.3%
期中平均株式数（百万株）	810	801	-9	-1.1%
EPS（円）	127	184	57	44.9%

* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出

2026年度 3Q実績

- 親会社所有者利益は、事業利益の増加や2Qに計上したFour Rosesの売却益などにより、大幅に増益
- EPSは、親会社所有者利益の増加に伴って向上しており、計画に対しても順調に進捗
- 事業利益はヘルスサイエンス事業の伸長と医薬事業の増益に加え、為替の後押しもあり、大幅に増益

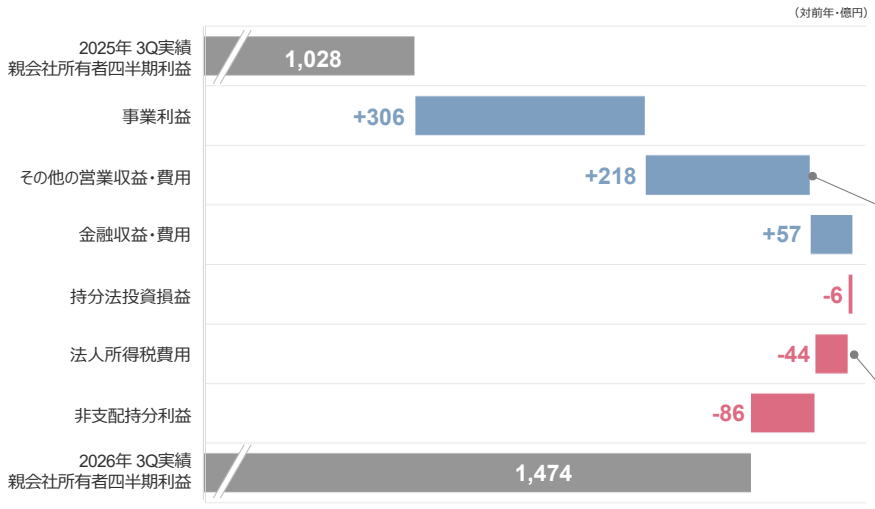
通期業績見通し

- 第3四半期における通期業績予想の修正は行わない
- EPSは通期計画達成を目指す
- Jamieson Wellness社の買収は予定通り今期中に完了予定。取得に伴う業績取込影響は通期見通しに含まれていない

© Kirin Holdings Company, Limited

- 第３四半期の連結売上収益は、対前年プラス5%、事業利益については、対前年プラス約18%と増収増益です。第2四半期に計上したFour Rosesの売却益もあり、親会社所有者利益も大幅に増益となりました。
- 事業利益は、ヘルスサイエンス事業が堅調なことに加え為替の後押しもあり、キリンビールとキリンビバレッジにおいて天候不順の影響を受けたものの、グループ連結としては計画に対して順調に進捗しております。
- EPSも親会社所有者利益の増加により前年を上回っています。
- なお、第3四半期における通期業績予想の修正は行いません。対前年で事業利益は大きく増益となっておりますが、本年の第４四半期においては、キリンビールで競合へのサイバー攻撃による売上増の反動とマーケティング投資増加に加え、グループ全体でも原材料等のコストアップ等の減益要因があります。そのため、為替による上振れの可能性はありますが、通期業績予想は据えおきます。
- 親会社所有者利益についても、対前年で大きく増益となっておりますが、各事業における構造改革費用の計上を予定しており、通期予想を据え置きます。EPSも年間目標達成を目指してまいります。
- また、8月に発表しましたJamieson Wellness社の買収については、予定通り今期中に完了を予定しております。なお、買収完了後の業績取り込みは、通期見通しに含めておりません。

2026年度 3Q実績：親会社の所有者に帰属する四半期利益増減



（対前年・億円）

補足

その他の営業収益・費用

《主要なもの》

「子会社売却益」 +290*

「子会社清算益」 +142**

「その他営業費用（その他）」 -230***

* Four Roses売却益

** 組織再編による中間持株会社清算に伴う為替換算実現

*** 協和キリンのrocatinlimabクロージング費用（-202）ほか

法人所得税費用

《税率》

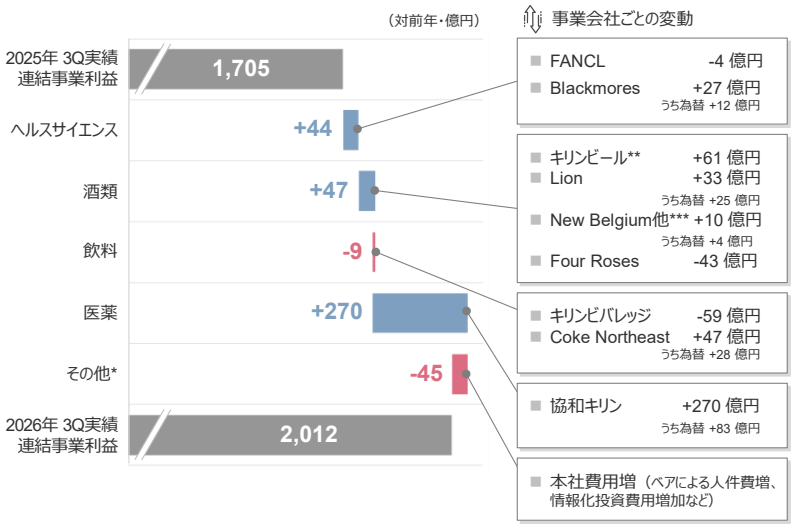
FY25Q3：29.4% ⇒ FY26Q3：23.9%*

* 税率は減少したものの税引前利益増により税金費用は増加

© Kirin Holdings Company, Limited

- 3ページは、親会社の所有者に帰属する四半期利益の増減です。
- 第2四半期同様、EPS成長に向け、ボトムの利益までしっかり上げていく取り組みが奏功し、親会社所有者利益は順調に進捗しております。

2026年度 3Q実績：セグメント別 連結事業利益増減



* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」との合算値
** キリンビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む
*** U.S.ワインを含む

トピックス

全般
- ヘルスサイエンス事業の伸長と医薬事業の増益に加え、為替の後押しもあり、大幅に増益

ヘルスサイエンス事業
- 各事業が堅調に推移しており、計画に対してもインラインで進捗

酒類事業
- 国内は最盛期の天候不順による数量減の影響を大きく受けたが、酒税改定を見据えた販促費の投入時期の調整もあり、増益
- 国外は消費環境が軟調に推移する中で、販売単価上昇とコスト削減を実現し現地通貨ベースでも増益を達成

医薬事業
- 主力商品が堅調に推移したほか、技術収入の増加と研究開発費の減少に加え、為替の影響に伴う売上総利益の増加などが大幅増益に寄与

© Kirin Holdings Company, Limited

- 4ページでは、セグメント別の事業利益増減とトピックを掲載しています。
- ヘルスサイエンス事業は計画通り伸長し増益となりました。各社ほぼ計画通りの進捗となっています。
- 酒類事業については、国内は最盛期における天候不順の影響により減収となりましたが、10月の酒税改定を見据えた販促費の調整もあり、対前年では増益となりました。国外では、消費環境が軟調に推移する中でも、販売単価の向上とコスト削減を進め、増益となりました。
- 医薬事業は、主力商品の売上が堅調に推移したほか、技術収入の増加や研究開発費の減少、為替の追い風もあり、大きく増益となりました。
- 各事業の売上収益・事業利益についての詳細は、資料編をご確認ください。
- 以上、第3四半期決算について、ご説明いたしました。

ESGの取り組みをリードし世界のCSV先進企業へ

Environment

PETケミカルリサイクル量産化に向けた技術的基盤を確立

- 日本製鋼所との共同研究における実機実証で、PETアルカリ解重合率95%以上を達成
- 量産プロセスの設計に必要な設備仕様や操業条件に関する知見を取得

実証に用いた二軸混錬押出機
（実機設備）



詳細はこちら

APAC初、自然資本取り組みをSBTNのターゲットトラッカー※で公表

- 水資源・土地利用・生物資源に関する優先地域・課題を科学的手法で特定し、第三者検証を受けた国際基準に基づく自然資本評価を実施

※ SBTNは自然資本に関する科学的目標設定の国際枠組みであり、ターゲットトラッカーはSBTNの進捗・取組状況を公表するデータベースを指す



詳細はこちら

Social

キリングループ初となる「人権レポート2026」を公開

- 国連「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）」に基づき、人権尊重の方針・ガバナンス、人権デューデリジェンス、ステークホルダーとの対話、救済メカニズムなど、グループの取り組みと進捗を体系的に開示



詳細はこちら

「プラズマ乳酸菌」入り飲料をシンガポールで販売開始

- 「プラズマ乳酸菌」のグローバル展開を加速させるべく、シンガポール市場で「プラズマ乳酸菌」入り飲料を販売開始
- さらに、東南アジアにおいてヘルスケアサービスを提供する「Fullerton Health社」と連携し、販売および情報発信を推進



詳細はこちら

Disclosure Materials

キリングループ
人権レポート2026

詳細はこちら

Lion
2025 Force for Good report

詳細はこちら

日本各地の食文化を支える生産者を応援する新たなブランドアクション「一番搾りACTION」を開始

- 全国47都道府県で気候変動や担い手不足など、さまざまな課題に直面する生産者を支援し、日本の食文化の未来につなげることを目的としたブランドアクション「一番搾りACTION」を開始
- 「一番搾り」の売上の一部を寄付するとともに、お客様も応援を通じて参加できる仕組みを導入。日本各地の食文化の発展と継承への貢献を目指す

詳細はこちら



© Kirin Holdings Company, Limited

資料編

Joy brings us together

2026年度 3Q実績：セグメント別 売上収益

（億円）		2025年 3Q実績	2026年 3Q実績	増減	%
連結 売上収益		17,561	18,516	954	5.4%
酒類		7,694	7,975	281	3.7%
	キリンビール*	5,156	5,230	74	1.4%
	うちキリンビール単体	4,785	4,760	-26	-0.5%
	Lion	1,334	1,585	251	18.8%
	New Belgium他**	650	737	86	13.2%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	554	424	-130	-23.5%
飲料		4,296	4,562	266	6.2%
	キリンビバレッジ	2,017	1,888	-128	-6.4%
	Coke Northeast	2,217	2,600	384	17.3%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	63	74	11	17.1%
医薬		3,492	3,848	356	10.2%
	協和キリン	3,495	3,849	355	10.2%
	セグメント間取引消去	-2	-1	1	―
ヘルスサイエンス		1,879	1,935	56	3.0%
	FANCL	829	921	92	11.1%
	Blackmores	511	623	112	21.9%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	539	391	-148	-27.5%
その他		199	195	-4	-2.0%

* キリンビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む
** U.S.ワインを含む

© Kirin Holdings Company, Limited

7

2026年度 3Q実績：セグメント別 事業利益

（億円）		2025年 3Q実績	2026年 3Q実績	増減	%
連結 事業収益		1,705	2,012	306	18.0%
酒類		909	956	47	5.2%
	キリンビール*	645	706	61	9.5%
	うちキリンビール単体	599	629	31	5.1%
	Lion	131	165	33	25.3%
	New Belgium他**	52	62	10	18.6%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	80	23	-57	-70.9%
飲料		527	518	-9	-1.7%
	キリンビバレッジ	170	110	-59	-34.9%
	Coke Northeast	349	395	47	13.3%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	8	12	4	45.4%
医薬		611	881	270	44.2%
	協和キリン	611	881	270	44.2%
ヘルスサイエンス		127	170	44	34.4%
	FANCL	82	78	-4	-5.3%
	Blackmores	51	77	27	52.9%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	-6	15	21	—
その他		-12	-21	-9	—
全社費用・セグメント間取引消去		-456	-492	-36	—

* キリンビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む
** U.S.ワインを含む

© Kirin Holdings Company, Limited

ヘルスサイエンス事業

2026年度 3Q実績 ：FANCL ／ Blackmores

FANCL

（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益*	829	921	92	11.1%
化粧品(スキンケア)	456	519	63	13.8%
サプリメント	328	358	30	9.2%
事業利益** ［事業利益率］	82 9.9%	78 8.4%	-4	-5.3%

* その他事業を含む
** PPAによる無形資産等の償却費を含む

地域別金額 対前年増減	26年 3Q実績
国内	1.9%
海外	79.7%

売上収益

化粧品(スキンケア)事業

- 海外での自社販売体制への移行に伴う収益の取り込みとアテニアの伸長、国内でのブランド強化施策の効果により増収。

サプリメント事業

- 海外での自社販売体制への移行に伴う収益の取り込み、国内での新商品発売効果により増収。

事業利益

- 主に国内において、ブランド強化のための広告投資を増加させたことにより、減益。

Blackmores

豪ドルベース（million AUD）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益*	540	557	17	3.2%
豪州・NZ	241	235	-6	-2.5%
東南アジア・韓国	141	149	7	5.2%
中国	157	172	15	9.6%
事業利益** ［事業利益率］	54 9.9%	69 12.4%	16	29.4%

通期予想レート：100.00円 (豪ドル) / 26年3Q実績レート： 111.75円(豪ドル)
25年3Q実績レート： 94.58円(豪ドル)

* その他受託業務を含む
** PPA による無形資産等の償却費を含む

売上収益

- 中国・東南アジアが引き続き堅調に推移し、豪州の減収をカバーした結果、売上収益は増収を確保。

豪州・NZ

- 昨年8月に売却したペット向けヘルスケア事業の影響もあり、累月では減収ながら、下期投入の新商品が好調に推移し、3Q単独では増収に転じた。

東南アジア・韓国

- インドネシア、マレーシアが牽引し、エリア全体で増収。豪ドル高の為替影響で成長率が低く見えるが、現地通貨ベースでは2桁成長を実現。

中国

- 越境ECチャネルやClub Channelが堅調に推移し、増収。なお、2026年9月からファンケルサプリメントの販売を予定通り開始。

事業利益

- 増収による売上総利益の増加、継続的な原価低減効果により増益。

© Kirin Holdings Company, Limited

9

酒類事業

2026年度 3Q実績：キリンビール

連結（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	5,156	**5,230**	74	1.4%
事業利益	645	**706**	61	9.5%

- 連結での業績は、増収増益。
- 海外事業は、全体を牽引する中国事業の好調が継続し、増収増益。

単体（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	4,785	**4,760**	-26	-0.5%
ビール類計	–	**–**	–	-3.0%
RTD	–	**–**	–	2.5%
ノンアルコール飲料	–	**–**	–	33.8%
酒税抜売上収益	2,966	**3,008**	42	1.4%
事業利益 ［事業利益率］*	599 20.2%	**629 20.9%**	31	5.1%

* 対酒税抜売上収益

25年3Q 事業利益		599	主な内容
対前年増減	酒類等限界利益増	40	ビール類計 △50億 ビール類以外計 25億 価格改定・品種構成差異等 65億
	原材料費増	-30	アルミ缶費用増等
	販売費減	51	マーケ費投下タイミング差等
	その他費用増	-30	減価償却費・情報システム費増等
	計	31	
26年3Q 事業利益		**629**	

（千KL）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	%	市場（カテゴリー）
一番搾りブランド計	279	**257**	-7.9%	-1%
一番搾り計	219	**214**	-2.5%	-1%
晴れ風	48	**45**	-6.1%	-1%
グッドエール	–	**22**	–	-1%
淡麗グリーンラベル	94	**90**	-4.4%	-7%**
本麒麟	114	**104**	-8.6%	-7%**
氷結ブランド計	219	**227**	3.5%	0%

** 発泡酒・新ジャンル（発泡酒②）合算のエコノミーカテゴリー前年比を記載

売上収益

- 売上収益は、最盛期の天候不順により、減収。
- 引き続き「一番搾り計」が堅調に推移したほか、「淡麗グリーンラベル」や「氷結ブランド計」が、酒税改正前の需要を着実に獲得し、市場を上回った。

事業利益

- 天候不順により販売数量が減少したものの、10月の酒税改正後にマーケ費の投下タイミングをアロケーションした影響もあり、増益。

© Kirin Holdings Company, Limited

10

酒類事業

2026年度 3Q実績 ：Lion ／ New Belgium他*

Lion

豪ドルベース（million AUD）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	1,410	1,418	8	0.6%
事業利益［事業利益率］	139 9.8%	147 10.4%	8	6.0%

通期予想レート：100.00円 (豪ドル) / 26年3Q実績：111.75円(豪ドル)
25年3Q実績：94.58円(豪ドル)

豪州・NZ事業利益増減（million AUD）

25年3Q 事業利益		139
豪州・NZ	数量	0
	その他	7
26年3Q 事業利益		147

販売数量前年比
豪州のみ　1.4%

売上収益
- 豪州では販売単価が前年から微増。販売数量も「Stone & Wood」に加え、「Hahn」を中心とした機能系ポートフォリオの伸長により、市場を上回って推移。
- Lion全体の売上収益は、NZの為替影響を受けたものの、豪州の好調が補い、前年並みとなった。

事業利益
- 中東情勢に伴うコスト増やマーケティング費用の増加がある中でも、豪州の販売数量増、ミックス改善による粗利増、固定費削減が寄与し、増益。

New Belgium他*

米ドルベース（million USD）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	441	464	23	5.2%
事業利益［事業利益率］	35 8.0%	39 8.4%	4	10.1%

通期予想レート：150.00円（米ドル）/ 26年3Q実績：158.85円(米ドル)
25年3Q実績：147.78円(米ドル)

* U.S.ワインを含む

売上収益
- 米国クラフトビール市場が縮小する中でも、「Voodoo Ranger」、「KIRIN Ichiban」などの基幹ブランドの販売数量がいずれも前年を上回って推移。
- 価格改定等により、販売単価も前年から上昇し、売上収益は前年を上回った。

事業利益
- 販売数量増および単価上昇による増収効果により、中東情勢を背景とした燃料価格上昇等による原価上昇やその他費用増を吸収。マーケティング費用の期ズレもあり、事業利益は増益。

© Kirin Holdings Company, Limited

飲料事業

2026年度 3Q実績 ：キリンビバレッジ ／ Coke Northeast

キリンビバレッジ

（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	2,017	1,888	-128	-6.4%
ヘルスサイエンス飲料	306	289	-17	-5.7%
事業利益 ［事業利益率］	170 8.4%	110 5.8%	-59	-34.9%

売上収益
- 昨年10月実施の価格改定で単価は上昇した一方、天候不順や大型PETの戦略的な販売抑制等により、減収。

事業利益
- 数量減に加え、原材料費や販売管理費の増加により、減益。

Coke Northeast

米ドルベース（million USD）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	1,500	1,637	137	9.1%
事業利益 ［事業利益率］	236 15.7%	249 15.2%	13	5.5%

通期予想レート：150.00円（米ドル）/ 26年3Q実績：158.85円(米ドル)
25年3Q実績：147.78円(米ドル)

売上収益
- FIFAワールドカップや米国建国250周年といった7月のイベント需要に加え、夏季需要を着実に取り込んだことで、数量は前年超。1月実施の価格改定効果も増収に寄与した。

事業利益
- 燃料費の高騰や一部資材のコストアップの影響を受けたが、増収による売上総利益の増加とオペレーションコスト抑制により、コスト上昇を吸収し、増益となった。

© Kirin Holdings Company, Limited

医薬事業

2026年度 3Q実績：協和キリン

協和キリン

（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	増減	%
売上収益	3,495	**3,849**	**355**	10.1%
事業利益 ［事業利益率］	611 17.5%	**881** **22.9%**	**270**	44.2%

（億円）	Crysvita クリースビータ		Poteligeo ポテリジオ	
	25年3Q実績	26年3Q実績	25年3Q実績	26年3Q実績
日本	97	**111**	12	**13**
北米	920	**1,075**	251	**284**
EMEA	424	**497**	73	**89**
その他	26	**33**	1	**2**
合計	1,467	**1,715**	337	**388**

売上収益

- 主力製品Crysvita/Poteligeoは、ともに対前年2桁成長を継続。
- 北米の伸長と技術収入の増加、為替の後押しもあり、増収。

事業利益

- 主力製品と技術収入による売上総利益の増加に加え、研究開発費の減少や為替のプラス影響が利益を押し上げ、増益。

© Kirin Holdings Company, Limited

13

医薬事業

協和キリン：主要開発パイプライン

2026年11月2日現在

	開発中の疾患[*1]	承認予定年[*2]	開発ステータス	市場規模[*3]	患者さんの数[*4]
ziftomenib	急性骨髄性白血病 (NPM1-m or KMT2A-r, 新規診断)	TBD	P3 (グローバル)	★★★★	20K
KK8398 infigratinib	軟骨無形成症	TBD	P3 (日本)	★	生児出生の 2万人に1人
	軟骨低形成症	TBD	P3 (日本) 準備中	★	生児出生の 3.3万人に1人
OTL-200	異染性白質ジストロフィー	2026/2027	P3 (日本) 準備中	★	生児出生の 10万人に1人[*6]
KHK4951 tivozanib 点眼	新生血管型加齢黄斑変性	TBD	P2 (日・米)	★★★★★	2672K
	糖尿病黄斑浮腫	TBD	P2 (日・米)	★★★★	2219K
OTL-203	ムコ多糖症I型 (Hurler症候群)	2029/2030	ピボタル試験[*5] (米・欧)	★	生児出生の 10万人に1人[*6]
OTL-201	ムコ多糖症IIIA型 (Sanfilippo症候群A型)	TBD	POC試験[*7]	★	生児出生の 10万人に1人以下

*1 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。 *2 最初に承認が期待される年です。*3「開発中の疾患」に対する全製品の総和を基に協和キリンが独自に推計した市場規模です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。★: 500億円未満、★★: 500億円以上-1000億円未満、★★★: 1000億円以上-5000億円未満、★★★★: 5000億円以上-1兆円未満、★★★★★: 1兆円以上 *4 協和キリン独自の推計値です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。*5 P3試験相当。*6「10万人に1人」はMPS-I全体の値であり、Hurler症候群はこのうちの60%になります。*7 P1/2試験相当。

© Kirin Holdings Company, Limited

14

Appendix

Joy brings us together

2026年度 3Q実績：連結財政状態計算書サマリー

(億円)	25年4Q実績	26年3Q実績	増減	増減内容
非流動資産	24,231	24,108	-123	
有形固定資産	7,390	7,327	-63	
のれん	5,333	5,410	77	
無形資産	6,947	6,800	-147	
持分法で会計処理されている投資	2,288	2,355	67	
その他	2,274	2,215	-58	
流動資産	10,709	9,210	-1,499	
棚卸資産	3,484	3,022	-462	
営業債権及びその他の債権	5,357	4,204	-1,153	前年度末が休日による減少　他
現金及び現金同等物	1,253	1,291	38	
その他	615	693	78	
資産合計	34,940	33,318	-1,622	
資本	15,951	16,508	557	
親会社所有者帰属持分	12,870	13,357	487	
非支配持分	3,082	3,151	70	
非流動負債	11,199	10,483	-716	
社債及び借入金	8,424	7,926	-498	
その他	2,775	2,557	-218	
流動負債	7,790	6,327	-1,463	
社債及び借入金	810	531	-279	
営業債務及びその他の債務	3,815	3,078	-737	前年度末が休日による減少　他
その他	3,165	2,718	-446	
負債合計	18,989	16,810	-2,179	
資本負債合計	34,940	33,318	-1,622	

- **資産合計**：前年度末が休日であったこと等による営業債権及びその他の債権の減少等により、前年度末に比べ1,622億円減少し、3兆3,318億円となった。
- **資本合計**：四半期利益の計上に加え、為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の増加により、前年度末に比べ557億円増加し、1兆6,508億円となった。
- **負債合計**：社債及び借入金の償還・返済に加え、前年度末が休日であったこと等による営業債務及びその他の債務や、未払酒税の減少により、前年度末に比べ2,179億円減少して1兆6,810億円となった。

© Kirin Holdings Company, Limited

2026年度 3Q実績：連結損益計算書サマリー

1 損益計算書サマリー

（億円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績	対前年増減	
売上収益	17,561	18,516	954	5.4%
売上総利益	8,319	9,009	690	8.3%
販売費及び一般管理費	6,614	6,997	384	5.8%
事業利益	1,705	2,012	306	18.0%
その他の営業収益	54	470	416	771.6%
その他の営業費用	311	509	198	63.7%
営業利益	1,448	1,973	524	36.2%
金融収益	70	151	81	115.3%
金融費用	127	151	24	18.6%
持分法による投資利益	282	276	-6	-2.2%
税引前四半期利益	1,673	2,249	575	34.4%
法人所得税費用	493	536	44	8.9%
四半期利益	1,181	1,712	532	45.0%
親会社の所有者	1,028	1,474	446	43.3%
非支配持分	152	238	86	56.5%

2 主要在外会社損益の為替換算レート

（円）	25年 3Q実績	26年 3Q実績
Lion・Blackmores（豪ドル）	94.58	111.75
Coke Northeast・New Belgium他（米ドル）	147.78	158.85

3 主要在外会社損益の取込期間

	25年3Q	26年3Q
San Miguel Brewery	2024年10月～2025年6月	2025年10月～2026年6月

© Kirin Holdings Company, Limited

17

2026年度 3Q実績：利益増減明細

1 その他の営業収益・その他の営業費用

(億円)	25年3Q 実績	26年3Q 実績	増減
その他の営業収益	54	470	416
有形固定資産及び無形資産売却益	30	6	-24
子会社売却益	0	290	290
子会社清算益	0	142	142
その他	23	32	8
その他の営業費用	311	509	198
減損損失	20	103	82
事業構造改善費用	176	54	-122
有形固定資産及び無形資産除売却損	21	28	8
その他	94	324	230

2 金融収益・金融費用・持分法による投資利益 等

(億円)	25年3Q 実績	26年3Q 実績	増減
金融収益	70	151	81
受取利息	54	90	36
受取配当金	10	5	-5
金融商品評価益	0	51	51
その他	6	5	-1
金融費用	127	151	24
支払利息	81	101	20
為替差損（純額）	28	33	5
その他	19	17	-1
持分法による投資利益	282	276	-6
San Miguel Brewery	255	244	-10
その他	27	31	4

© Kirin Holdings Company, Limited

2026年度 3Q実績：指標等

1 指標等（前年同期比）

■前年同期比

	25年3Q 実績	26年3Q 実績	増減	%
EPS	127円	184円	57円	44.9%
売上収益（酒税抜き）（億円）	15,538	16,570	1,033	6.6%
事業利益率（対酒税抜き）	11.0%	12.1%		
グロスDEレシオ	0.84倍	0.63倍		

■前年期末比

	25年4Q 実績	26年3Q 実績
ROIC*	7.6%	–
ROE*	12.0%	–
グロスDEレシオ	0.72	0.63
ネットDebt／EBITDA*	2.39	–
PBR（株価純資産倍率）	1.5	1.7

- **ROIC**：利払前税引後利益／(有利子負債の期首期末平均＋資本合計の期首期末平均）にて算出
- **ROE**：親会社の所有者に帰属する当期利益／自己資本（前当期平均）にて算出
- **PBR**：期末株価終値／（親会社の所有者に帰属する持分／期末発行済株式数（自己株式除く））にて算出

*ROIC・ROE・ネットDebt／EBITDAは4Qのみ開示

- **グロスDEレシオ**：有利子負債が8.4%減少し、親会社の所有者に帰属する持分が3.8%の増加となったため、前年度末より低下した。
- **PBR**：期末株価終値が21.6%上昇し、親会社の所有者に帰属する持分は6.4%増加したことから、前年度末より増加した。

© Kirin Holdings Company, Limited

19

2026年度 業績：連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

（億円）	25年3Q 実績	26年3Q 実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,697	1,947	250
税引前四半期利益	1,673	2,249	575
減価償却費及び償却費	749	813	64
その他	-725	-1,114	-389
投資活動によるキャッシュ・フロー	-978	245	1,223
有形固定資産及び無形資産の取得	-1,037	-948	88
その他	59	1,193	1,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	-493	-2,227	-1,733
有利子負債の増減額	1,198	-780	-1,978
配当金の支払額	-731	-764	-33
その他	-960	-683	277
換算差額	12	73	60
現金及び現金同等物の増減額	238	38	-200
会計方針の変更による影響額*	-107	0	107
フリーキャッシュフロー	719	2,192	1,473

- **営業活動CF**：前年同期に比べ250億円増加の1,947億円の収入となった。前年同期に比べ運転資金の流入が631億円増加した一方、法人所得税の支払額は106億円増加した。
- **投資活動CF**：245億円の収入（前年同期は978億円の支出）となった。有形固定資産及び無形資産の取得については前年同期に比 べ88億円減少の948億円を支出した。一方、子会社持分の譲渡により1,145億円の収入があった。
- **財務活動CF**：前年同期に比べ1,733億円増加の2,227億円の支出となった。配当金の支払により764億円、自己株式の取得により532億円、社債の償還により400億円、長期借入金の返済により250億円、コマーシャル・ペーパーの減少により130億円の支出があった。

* 現金及び現金同等物の期首残高を減少させており、「現金及び現金同等物の増減額」に含めていない

© Kirin Holdings Company, Limited

20

参考情報　リンク先

- キリンホールディングス
  IR情報



https://www.kirinholdings.com/jp/investors/

- キリンホールディングス
  - Investor's Guide
  - Fact Book
  - 動画



https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/guide/

* 「Investor's Guide」は、投資家様向けにキリングループの経営計画、事業概要や各事業の保有意義などをまとめた資料です。

© Kirin Holdings Company, Limited

21

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

